

# 私たちの西地域

《発行》  
西地区  
区長会

手賀野 (手賀野上区, 第1区, 第2区, 会所ヶ丘区)

駒場 (第3区, 後田区, 松源寺区, 大峡区, 共栄区, 第4区, 第5区, 西ヶ丘区, 大平区, 山手区, 桃山区, 第6区, 第23区)

## 青木斧戸線 全線開通は令和4年度 早期実現を!

～令和3年12月1日から一部の区間(中間部分と西小学校南側など)が通行可に～

青木斧戸線は平成26年度より事業着工し、令和3年度中の完成目標として工事を行ってまいりましたが、国道19号を横断する地下道で構造物や埋設管が見つかり、これらを移動するための工事が必要になりました。また、国道に交差点を新設しますので、今までの「小向井交差点(手賀野公会堂横)」は信号が廃止されて、左折のみ可能となります。早期の全線開通が望めます。



手賀野から撮影：国道19号と西小学校方面



青木稲荷神社から南(R19)方向



西小学校付近の歩道橋↑

上宿橋(前川：中山道)は60年以上経過しており、架替工事中です。

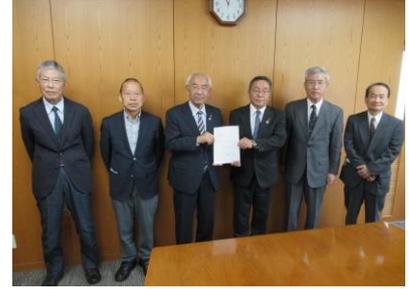
(期間はR4/8月までの予定)

迂回路は西小学校の通学路にもなっていますので、通行には十分注意してください。



## ●区長会三役が市長に「西地区要望書」を提出

市政懇談会がコロナ禍の影響で今年度も中止になりました。その代替りとして、10月21日、市役所で区長会長ほか三役が市長に『西地区要望書』を手渡し、地域住民の交流活動拠点、リニアや環境などの課題について意見交換しました。市からの回答がありましたら広報でお知らせいたします。



### 《要望項目》

#### 1. 活動拠点の整備

- ①手賀野・駒場両地区の地理的中心部に「西交流センター（仮称）」を整備する。
- ②青木斧戸線沿線にある市有地の位置と面積を明示する。
- ③手賀野公会堂を公民館と位置付けて整備する。

#### 2. 地域一括交付金見直し

- ①各地域の金額に大きな差があるため是正する。（人口割の配分増）
- ②がんばるサポート事業補助金等を地域一括交付金に集約する。

#### 3. 人的支援の拡充

- ①令和4年度から西地区に複数名の「地域担当職員」配置を希望する。

#### 4. リニア関連工事での地域住民の安全確保や情報提供をしっかりと行う。

#### 5. 東濃東部都市間道路整備に関して、桃山工区の具体的計画を早期に示す。

#### 6. 前川河川改修は青木斧戸線道路工事の完成と同期して終わらせてほしい。

#### 7. 後田川、京田用水等も、前川津島橋～米田橋と同様の浚渫（しゅんせつ）を要望する。

#### 8. 河川のみならず、京田用水をはじめとする面的な治水対策を早期に計画し実施する。

#### 9. 青木斧戸線に取り付けられる市道の道路幅拡張を求める。

#### 10. 青木斧戸線の周辺地域について、市のまちづくりの考え方を示してほしい。

#### 11. 通学路の安全を市と警察が一緒になってチェックし

歩道と車道を分けるブロックも設置する。

#### 12. 西小学校を優先避難所に指定し、地域集会所も

「届出避難所」とする制度を導入する。

#### 13. 市の最終処分場が能力の50%に達しつつあるため

市が抜本的なゴミ減量を主導する。

#### 14. 秋葉神社（駒場青木）付近にトイレを設置する。



●西地区まちづくり協議会の設立に向けて“東近江市蒲生地区まちづくり協議会”と意見交換

10月4日、市役所大会議室にて、市(市民協働課)と北村隆幸氏(関市まちづくりNPO代表理事)の協力を頂きながら、設立準備会メンバー13名が東近江市「蒲生(がもう)地区まちづくり協議会」の正副会長らとzoomによるオンライン研修を行いました。コロナ禍ということで3か所をネットをつなぎ、約1時間の意見交換でしたが色々な事を学ぶことができました。

この協議会は自治会役員(区長会)が発起人となって平成18年に設立。規約にも自治会連合役員を入れ、自治会との両輪で地域の土台として組織運営をしていく考え方でした。

現在は、コミュニティセンターの管理運営を市から任せられ、地域広報も毎月発行しています。

住民アンケート(15歳以上が対象)をもとに支所の職員と一緒に作った地域づくり計画は、メニュー化して各自治会が自分の地域にあったものを選択する形で実行され、市職員11名が「地域担当職員」として配置されていることなどが特徴的でした。設立準備会では、視察で学んだ事や市内外のまちづくり活動、それぞれの設立経緯なども参考に議論を重ねていきます。



●リニア「中部総合車両基地」の工事がスタート!

令和3年10月14日からリニア新幹線の車両基地の造成工事が始まりました。東西約2,000m、南北は広いところで400mという広さです。

(安全祈願式の様子→)

東京・品川～名古屋間に作られる車両基地は2か所。車両を分解して検査、整備する工場が併設されるのは中津川市だけなので、雇用拡大や移住定住への波及効果が期待されます。

造成工事は2025年秋までということですが、すでに始まっているトンネル工事等の土砂や資材の運搬車の交通量が増えていきますので、市が設置した「工事調整会議」等に安全確保や生活環境への影響の低減を求めています。

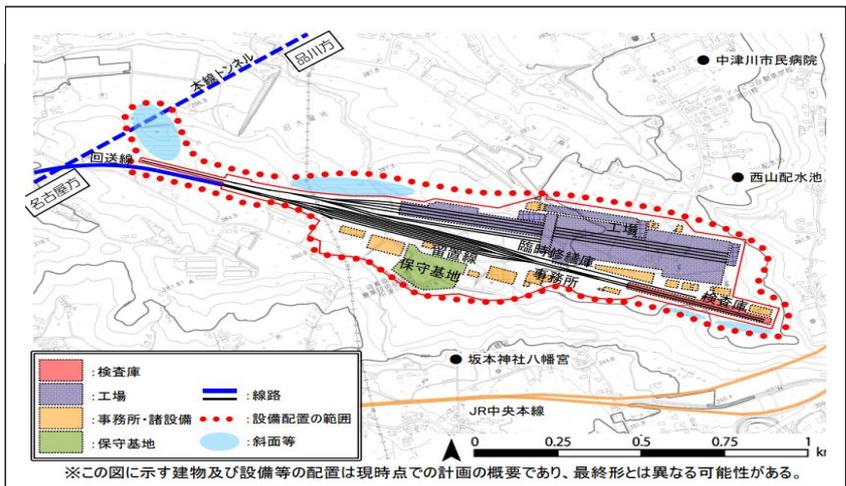
リニア関連工事・通行規制情報は、[市ホームページ](#)をご覧ください。



※イメージ図、安全祈願式：JR 東海資料より



工場のイメージ  
(東海道新幹線浜松工場の例)



※この図に示す建物及び設備等の配置は現時点での計画の概要であり、最終形とは異なる可能性がある。

●中京学院大学の学生ボランティアが「西地区ホームページ」を作成しています

西地区区長会が市民協働課経由で中京学院大学生を募集した結果、7名がホームページづくり参加してくれています。10月に区長会長と事務局で大学を訪問し、特任講師の大塚先生のアドバイスを頂きながら学生らと意見交換。その後、西まちづくり事務所で皆さんに地域の魅力などを紹介し、大塚先生によるホームページ作成の講義後は、各メンバーの役割分担を決めて作業に入ることになりました。

まちづくり協議会がまだ設立準備の段階なので、西地区区長会が学生たちの活動(作成、地域訪問等)をサポートしていきます。

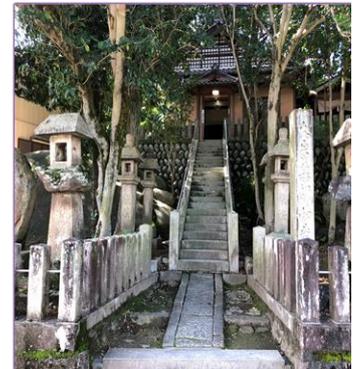
第一段階の活動目標は、年内にホームページを立ち上げることです。



●地域で支える大岩薬師 「万寿会」の清掃活動

女夫岩公園近くにある大岩薬師は、大きな岩を彫り込んだ中にご本尊の薬師如来(石像)が安置され、治病にご利益があるとして信仰を集めてきました。例大祭は毎年4月12日、第5区、西ヶ丘区、山手区、大平区の4つの区(昭和51年「旧5区」から分区分)が2年毎の輪番で当元をやっています。

この分区分を機に西ヶ丘区と第5区の老人クラブとして「万寿会」が結成され、現在の会員数は32人。毎月の清掃活動や例会を行いながらカラオケや囲碁、ウォーキング。コロナ禍が治まったあとは旅行も楽しみたい。現在、「会員大募集中」とのことです。



●まちづくりイベント ～「昔と今のまち風景」写真を募集しています!～

西地区区長会では“古いアルバムの中に眠っている写真は大切な思い出ですが、きっと私たちの財産にもなるはず”、という思いから、皆さんに呼びかけて昔の写真を集めています。

そして、同じアングルから現在の様子も撮影して比べられるようにパネルにし、各地域での移動写真展や敬老会での展示、西地区ホームページ(作成中)等で閲覧できるように取り組んでいます。秋に一旦締め切りをさせていただきましたが、現在も継続していますので是非ともお住いの区長にお声がけください。よろしくお願いいたします。

※下の画像は、左からギオンバ、大平バス停、中山道(こでの木坂から駒場方面)です。

